

環境化学（科学）の基本的・総合的な知識

化学物質による汚染

★沈黙の春 レイチェルカーソン著（1962）：

内容に関しては賛否両論あるが、世界的に化学物質の環境汚染を提示した歴史的著作。

★化学物質と人間 磯野直秀 中公新書（1975）：

化学物質管理の発端となった PCB 汚染の歴史的経緯を知る

環境化学の基本

★環境化学 坂田昌弘 編著 講談社（2015）：

環境化学の教科書として作られており、法体系、化学物質が与える大気・水・土壌、生物生態系への影響、それを知るための分析法や、リスク評価、保全技術に関する内容までを網羅した著書。

環境リスクの考え方

★環境リスク解析入門 吉田喜久雄 中西準子 東京図書（2006）：

環境に放出された化学物質による環境リスク解析の基礎を学べる。考え方から解析方法の解説、事例紹介に加え、解析ツールの紹介もある。

★基準値のからくり 村上道夫 ほか 講談社ブルーバックス（2014）：

食品、水道水の基準から環境基準などがどのようにして定められたのか、その経緯を裏話の様な背景とともに解説。